

平成 29 年 2 月 14 日



各 位

株 式 会 社 FRONTEO
代 表 取 締 役 社 長 守 本 正 宏
(コード番号：2158 東証マザーズ)
(NASDAQ ティッカーシンボル：FTEO)
問 合 せ 先 管 理 本 部 長 瀬 尾 周 一
電 話 番 号 03-5463-6344

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 16 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 13,100	百万円 95	百万円 70	百万円 0	円 銭 0.00
今回発表予想 (B)	11,800	△850	△860	△700	△19.47
増減額(B-A)	△1,300	△945	△930	△700	—
増減率 (%)	△9.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	10,553	71	25	△194	△5.47

2. 平成 29 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,340	百万円 65	百万円 0	円 銭 0.00
今回発表予想 (B)	4,570	260	115	3.20
増減額(B-A)	△770	195	115	—
増減率 (%)	△14.4	300.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	4,560	189	74	2.09

修正の理由

平成 29 年 3 月期通期決算につきましては、リーガル事業において韓国の手先クライアントの大規模訴訟の収束により当該顧客向けの売上高が減少したことに加え、米国子会社で内部統制の改善・強化を優先的に取り組むなか、営業活動が減速せざるを得なかった影響が第 3 四半期まで尾を引いたことから、売上高が当初の予想を下回る見込みとなりました。損益面につきましても、売上高の減少に加えプロダクトミックスの変化による売上総利益率の低下が響き、当初の予想を下回る見込みであります。

個別業績予想につきましては、グローバルでの営業活動の減速の影響により海外子会社との取引高が減少したことから売上高が当初予想を下回る見込みとなりました。利益面では経費削減に取り組んだ結果、経常利益、当期純利益とも当初の予想を上回る見込みであります。

(注) 上記業績予想は、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後、為替の変動等様々な要因によって記載内容と異なる可能性があることを予めご承知ください。

以上